

社会福祉法人福生ひまわり会 2025年度事業計画

目的：利用者に対し、継続して質の高いサービスを提供しつつ、事業所の安定した経営を図るとともにより多くの利用者のニーズに応えるための事業拡大をめざす。

項 目	課 題	2025年度事業計画として
安定した経営基盤の確立 サービスの向上	- 利用者の獲得と稼働率の向上 工賃向上、作業内容・レクリエーション等、環境(空間、衛生面・安全管理)等の改善 - 新規事業(就労選択支援)開始のための準備 - 就労定着支援事業の廃止 - コスト削減とコスト意識の徹底	- 利用稼働率の向上 細やかな支援を行えるよう、職員の受け入れ態勢を整える居心地の良い環境作りと相談しやすい空間作りを行う - レクと学習会を中心に余暇活動を積極的に取り入れる単価の高い内職に切替え、工賃向上につなげる - 事業所を維持していくために必要とされる職員配置 サビ管、計画相談支援員の増加に向けた職員採用と育成 - 経費の見直しと業務の効率化
職員の働く環境の整備と資質向上	- 人材育成・教育 質の高い福祉サービスを提供するため、専門職としての資質向上をはかる - 職場環境の整備 業務分担の組みなおし、業務の見える化 - 利用者・地域との関わりにおいて、幅広い知識と対応力が求められる	- 外部研修の受講と内部研修の実施 - シエンシーを活用した研修の充実 - 人材育成とキャリアパスが連動した計画を立て、それに沿った給与や手当等の充実をはかる - 情報の整理と役割の細分化を行う
B型事業の充実・強化	- B型事業の見直し(製造・管理、販売・営業)の強化 - 作業項目の見直しと廃止又は生産量の増加 - 販路拡大に向けての動き - 利用者の確保と工賃アップ	- 東京都のB型マネジメントを継続し、パッケージや宣伝等の見直しをすすめる - みのり作業空間の評判が良く利用者増になったため、作業の内容を見直し単価の良い作業に切り替える
計画相談事業	麦わら帽子利用者を中心に継続	- 現状を維持し、今後新規の相談受け入れも検討 - 二人目の相談員を確保し体制を整える
職場環境のIT化 セキュリティ対策	- データ等の一元化を実施しているが、データの整理と個人管理の制限等について課題がある - ホームページの有効活用と管理 情報開示のためのツール - 個人情報保護と、情報漏えい防止のセキュリティ対策について厳重な管理体制を構築する	- 業務データの一括管理 - 速やかに情報発信が行えるよう活用する - Airitで情報共有している 万が一の時、データの復元も可能 PCごとにパスワード管理を行っている
その他	危機管理体制が未作成 非常災害時等の事業継続計画(BCP)の見直しと更新	事業の継続を阻害するリスクを明確化し対策を整理する取組を行う